



たじろ

- * 自主性：自分がする。挑戦する。行動を起こす。
- * 自律性：自ら考える。適切に判断する。我慢する。
- * 寛容性：褒め合う。いたわり合う。励まし合う。



▶ 発行日：令和6(2024)年3月11日

▶ 文責：校長 西村 茂樹

田代中 HP



届け! この歌

季節の移ろいと共に、
時は巡り、時と共に人
は去りゆく。3/8(金)、逞
しく成長した卒業生が、

たくさんの「ありがとう」と輝く笑顔を残して母校を巣立っていきました。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、佐々木教育長様をはじめとする、本校教育をお支えくださった全ての皆様方に、心から御礼申し上げます。

我々職員も、県内中学校一の生徒数を誇る本校で、コロナ禍の苦難を共に乗り越えながら、最後のこの卒業式までも「自主性」溢れる行事等をやり遂げてくれた生徒たちの成長の過程に携われましたことを有り難く、そして、幸せに感じております。ありがとうございました。

群青

福島県相馬市生まれ

ああ あの町で生まれて 君と出会
いたくさんの思い出抱いて
一緒に時を過ごしたね
今 旅立つ日 見える景色は違っても
遠い場所で 君も同じ空
きっと見上げてるはず
(中略)
あたりまえが幸せと知った
自転車をこいで 君といった海
鮮やかな記憶が 目を閉じれば
群青に染まる きっとまた会おう
群青の絆 また会おう

※歌詞一部です

気高く厳かに

卒業証書授与式



246名の巣立ち

♪ 今日まで
導き支えてくださった
先生方、いつも温かく見守ってくれた家族、楽しく笑い合った友達、
多くの人に支えてもらったことに感謝しています。私たちが進む道は、
それぞれ違います。けれど、この歌の詞にあるように、どこにいても
見上げる空は同じです。田代中で過ごした3年間の思い出を胸に、卒
業生みんなで心を合わせてこの歌を届けます。



原 さん「答辞」



義務教育修了

社会に出ても困らない読み・書き・計算、体力・道徳。9年間に身に付けた力で君たちは生きていく。一人一人へ、その「証」を授与します。おめでとう！



ありがとう先生

励ましてくれた先生。叱ってくれた先生。いつも傍にいてくれた先生。これからももっともっと成長します。ずっと、ずっと見守っていてください。



輝く笑顔で

喧嘩した日。仲直りして泣き笑いした日。親に反抗した日。先生に叱られた日。つまずき転んで反省して、この仲間と一緒に成長してきた。



号令のない式典

最高にカッコよかった!! そんな君たちが、私は自慢です。上級生の姿を見ながら、次の下級生が育っていく。今や田代中の一番の強みです。



思いを込めて

お父さん・お母さんへの心からの「ありがとう」家族の支えで、今日まで頑張ってきた。みんなのお陰で成長できた。次の学校でも一生懸命頑張ります。



選択を正解に

大事なことは、どの道歩む(どの高校に進む)かではなく、どう歩むかだということ。歩みだした道を「正解」にしていく努力こそが大事です。3年後、再び卒業の時を迎えたときに「この高校に来てよかった。」「ここに来て正解だった。」と思える高校生活を送ってください。《3年生「修了式」にて》



金子みすゞ

い」と詠んだように、私たちは、本当に優しくなれているのでしょうか。人の心の痛みが分かり、喜びや悲しみを分かち合える心を養うことこそ、最も大切な教育であると思っています。ネット時代の今だからこそ、大切な大切なものだと思うのです。

いつの日か、この故郷を、この日本を背負っていく君達が、真に「恕」の心をもつ人となり、ひたすら正直かつ謙虚に人生を歩んでいかれるよう祈念し、限りなくやさしい詩人 金子みすゞ の一編の詩を贈って、最後の饞とします。



積もった雪

金子みすゞ

上の雪 寒かるな
冷たい月が差している。

下の雪 重かるな
何百人ものせていて。

中の雪 さみしかるな
空も地べたも見えないで。



今泉 さん「送辞」

ありがとう先輩

いつか来る「卒業の日」。私達も心から「ありがとう」って、言えるかなあ。おめでとうございます先輩達。しっかりと引き継いでいきます。



「送る会」3/7(木)



下級生から3年生へ御祝いとお礼のメッセージ色紙



「3年間のいろんな日々を思い出しながら過ごして下さったら嬉しいです。」と、式前日は、生徒会(下級生)主催による「送る会」。映像や歌・メッセージ入りの色紙の贈りものをして祝ってくれました。3年生も楽器演奏や歌で感謝の気持ちを届けました。温かい心のこもった素敵なお別れ会になりました。



令和5年度
学校教育目標

夢に向かって目標をもち、
チャレンジする生徒の育成

